中期経営計画

1. 中期経営ビジョン 2016 - 2020

(=5年後の将来にあるべき姿)

- (1) 市場、社会におけるポジション・対外的評価
⇒ 地域の福祉ニーズに応え、安心した暮らしを守る
- (2) 事業運営の将来像
⇒ 外部環境による経営リスクを最小限にし、効率的な事業運営により強靱な財務体質を築く
- (3) 組織と人のあり方
⇒ 成長意欲の高い人材の育成に取り組み、様々なライフスタイルに合わせた働き方を実現させる

2. 中期経営方針

(=中期経営ビジョンに掲げた目標を実現するための活動方針)

- (1) 財務の視点
 - キャッシュベースで、2016～2020年の収支差額累計3億円を達成する
 - 長期借入金の償還原資を確保しかつ貸金水準を維持する
- (2) 利用者の視点
 - 地域の高齢者・障害者の潜在ニーズを引き出し、それらに応える価値を提供する
 - 高齢化・重度化に対応するために、ハード・ソフトの両面を強化する
- (3) 職員の視点
 - 高い専門性と豊富な知識・技術を身につけるための人材育成プログラムを策定・運用する
 - 女性でも働きやすい職場を目指し、労働環境・労働条件を整備する

(4) 業務プロセスの視点

- 業務の標準化，合理化を進めるために，マニュアルと組織編成を見直す
- 外部への情報発信量を増やし，法人事業の可視化を進める

(5) 地域貢献の視点

- 公的サービスを受けられずに困窮している方々の声に耳を傾け，手を差し伸べる
- 同じ悩みを抱える方々が集まり，相談できる場を提供する

3. 中期経営戦略

(=中期経営方針に沿って目標を達成するための手段)

- (1) 法人本部の機能強化と計画的な人材確保・定着・育成
- (2) 北の峯学園・ライフサポート彩 利用者の重度化・高齢化対策
- (3) 障害通所事業所の再編
- (4) デイサポートかみふらのの段階的な事業拡大と障害者グループホームの生活環境整備
- (5) 介護人材の確保
- (6) 高齢者事業運営の効率化
- (7) 災害対策の強化

4. 行動計画と達成状況

【達成状況】

○：達成 △：実行して未達 ×：実行せず

【第2期中期経営計画における継続判断】

完：完了したため継続しない 継：継続して取り組む 断：情勢の変化により中断する

	2016	2017	2018	2019	2020	継続 判断
戦略（1）法人本部の機能強化と計画的な人材確保・定着・育成						
取組① 経営管理・人事・総務・企画部門を法人本部に集約、人員増強	△	△	○	△	△	継
取組② 社会福祉法人制度改革への対応	△	○				断
取組③ 採用活動の強化	△	△	○	△	△	継
取組④ 人材育成計画の策定	×	×	△	△	△	継
取組⑤ 人事考課者研修の実施	×	×	△	○	×	継
取組⑥ 労働環境の改善	△	△	△	○	○	継
取組⑦ 子育て支援策の立案と運用	△	○				完
取組⑧ 事業主行動計画の策定	△	△	△	△	△	継

戦略 (2) 北の峯学園・ライフサポート彩 利用者の重度化・高齢化対策						
取組① 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）の受講	○	○	○	○	○	継
取組② GH利用者への医療分野での専門的な支援	○	○	○	○	○	継
取組③ 法人所有GHの防災対策	△	△	△	○	○	継
取組④ 高齢障害者に対するサービス変更（入所施設への移行）	×	△	○	○	×	継
取組⑤ 支援員の介護知識・技術の向上	○	○	○	○	△	継
取組⑥ 高齢・重度の利用者が生活するGH住居の整備	×	×	△	△	△	継
戦略 (3) 障害通所事業所の再編						
取組① サポート・ステーション栄町の定員増と事業所の改築	△	△	△	○		完
取組② 通所事業の事業別運営と作業種拡大への取り組み	△	△	△	△		断
戦略 (4) デイサポートかみふらのの段階的な事業拡大と障害者グループホームの生活環境整備						
取組① 上富良野エリア ○デイサポートかみふらのの定員増（20名から30名へ） ○上富良野町内にグループホーム（以下GH）開設とGH住居増設とGH単独化 ○GHの夜間支援体制づくり	×	×	×	△	△	継
取組② 富良野エリア ○富良野市内の老朽化GH住居の整備 ○GHの夜間支援体制づくり	×	×	△	△	△	継
戦略 (5) 介護人材の確保						
取組① 学歴・年齢層に応じた戦略を講じる ○高卒、専門卒、大卒の新卒者に対する求人活動を法人本部と協力して行う ○市内近郊在住者に対する中途採用者確保に向けた求人対策を協議・実施する	×	×	△	△	△	継

<p>取組② 介護等業務内容を再検討し、求人対象者の幅を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活支援業務等、直接介護業務と区別した職務の必要性を模索し適正な配置を行う ○障害者雇用を推進し、シルバー世代の雇用を協議・実施する 	△	△	○	○	○	継
<p>取組③ 外国人介護員受入に係る円滑な体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人技能実習生の受け入れ準備を進める ○補助金を活用するなど生活基盤を整備する ○今後を見据えて留学生や特定技能外国人などの活用も検討する 	×	×	×	○	○	継
戦略(6) 高齢者事業運営の効率化						
<p>取組① ケア体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○業務内容、時間設定などを再検討し、有期契約職員の効果的な配置をおこなう ○次世代リーダーを育成する ○柔軟な相談体制づくり及び地域の潜在的なニーズ調査をおこなう 	△	△	△	△	△	継
<p>取組② 指定管理者制度に係る円滑な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次期指定管理更新について内部的な協議を開始する ○稼働率管理について富良野市との連絡を密にして目標達成を目指す ○山部・東山地区における高齢者支援について現状把握・ニーズ調査をおこなう 					△	継
戦略(7) 災害対策の強化						
<p>取組① 自然災害におけるマニュアルの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害時等備蓄品の確認及び購入 ○各施設・事業所のマニュアルの見直し 	△	△	△	○	○	継